

# 苫小牧市財政健全化計画 ローリング版

(平成22年度～24年度)



平成23年 2月

苫 小 牧 市

## 目 次

1 財政健全化計画のローリングにあたって	1 ページ
2 収支見通し総括表(経常経費の収支見通し)	2 ページ
3 計画の具体的な内容	
(1) 行政改革プラン等の確実な実施	
1 行政改革プラン項目の実施	3 ページ
2 予算編成における実施	4 ページ
3 各特別企業会計の繰出金	4 ページ
4 基金・市債の活用	5 ページ
5 財源確保額一覧表	6 ページ
(2) 財政指標	7 ページ
(3) 今後の苫小牧市の財政のあり方	8 ページ

## 1 財政健全化計画のローリングにあたって

苫小牧市の財政健全化計画は、「苫小牧市財政健全化プラン実施計画(平成17年度～21年度)」「(平成17年2月)」、「苫小牧市財政健全化計画(平成19年度～21年度)」「(平成19年2月)」、そして「苫小牧市財政健全化計画(平成22年度～24年度)」を策定してきました。地方自治体を取巻く財政環境は一向に改善されず、昨今の政策転換や経済不況に対応できる財政体質が強く求められています。

未だ混沌とした情勢ではありますが財政健全化計画の方針・目的である

- (1)行政改革プランと密接に連携した計画目標の実施
- (2)「健全化の道筋」である財政指標の達成
- (3)市民及び職員の財政状況の認識の共有化
- (4)毎年のローリングによる状況説明

により計画目標の達成に努め、柔軟性のある財政構造への転換を図ります。

平成23年度の予算編成では、財政健全化と行政改革を最重要課題とし、財政健全化計画と行政改革プランとの連携と共に経常変動費の枠配分を戦略的予算編成として継続し、マネジメント力の強化、コスト意識の醸成、自主性・自立性の確保を図りました。

このたび新年度予算案の完成に伴い、一般会計予算額を計画値に変更し、改めて財政健全化計画ローリング版としてお示しします。

## 2 収支見通し総括表（経常経費の収支見通し）

平成22年度決算見込（最終補正）額と平成23年度予算額を財源対策前の値に置き換えて計上しています。

（単位：百万円）

	22年度 予算	22年度			23年度			24年度		
		当初計画値	ローリング値	差引	当初計画値	ローリング値	差引	当初計画値	ローリング値	差引
一 般 財 源	40,186	41,087	41,915	828	40,871	41,697	826	40,655	41,415	760
市 税 等	27,081	27,071	27,514	443	27,111	27,357	246	26,850	27,075	225
地 方 交 付 税 等	9,813	11,024	11,127	103	10,768	11,080	312	10,813	11,080	267
地 方 譲 与 税 等	3,120	2,820	3,102	282	2,820	3,098	278	2,820	3,098	278
財 産 収 入	172	172	172		172	162	△ 10	172	162	△ 10
特 定 財 源	15,473	15,473	15,700	227	16,258	16,933	675	18,112	18,795	684
国 道 支 出 金	13,790	13,790	13,997	207	14,583	15,271	688	15,154	15,859	706
使 用 料 ・ 手 数 料	782	782	781	△ 1	782	770	△ 12	2,044	2,027	△ 17
分 担 金 ・ 負 担 金	505	505	523	18	505	475	△ 30	505	475	△ 30
そ の 他	396	396	399	3	388	417	29	409	434	25
歳 入 （ 経 常 ） 合 計	55,659	56,560	57,615	1,055	57,129	58,630	1,501	58,767	60,210	1,444
義 務 的 経 費	46,314	46,225	46,642	417	47,700	48,808	1,108	48,547	49,884	1,337
人 件 費	9,887	9,849	9,906	57	9,857	9,964	107	9,912	9,942	30
扶 助 費	19,366	19,366	19,566	200	20,480	21,205	725	21,221	21,962	741
公 債 費	7,729	7,680	7,633	△ 47	7,884	7,813	△ 71	8,321	8,271	△ 50
各 会 計 繰 出 金	9,332	9,330	9,537	207	9,479	9,826	347	9,093	9,709	616
そ の 他 経 費	7,312	7,386	7,426	40	7,541	7,517	△ 24	8,252	8,194	△ 58
歳 出 （ 経 常 ） 合 計	53,626	53,611	54,068	457	55,241	56,325	1,084	56,799	58,078	1,279
経 常 収 支 差 引	2,033	2,949	3,547	598	1,888	2,305	417	1,968	2,132	164

### 3 計画の具体的な内容

(1) 安定した財政環境を確立するため事務事業の点検など、行政改革プランと密接に連携して計画項目を実施する。

#### (1)-1 行政改革プラン等の確実な実施

##### ○ 補助金・負担金の見直し

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値		7	15	22
ローリング値		10	16	26

各団体の決算状況、費用対効果及び負担の根拠などから見直しを行ないました。今後も、継続的な取組により削減を図っていきます。

##### ○ 使用料・手数料の見直し

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値		2	2	4
ローリング値		1	5	6

3使用料、1手数料の見直し及び新設を行ないました。受益者負担の適正化の観点から継続的に取組んでいきます。(学校開放校、モーラップ樽前荘、市有放牧場、計量検査手数料)

##### ○ 新学校給食共同調理場の民間委託

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値			(118)	(118)
ローリング値			(118)	(118)

##### ○ 公共施設の改廃、指定管理者の導入

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値			9	9
ローリング値			9	9

苫小牧市行政改革プラン及び苫小牧市公共施設運営計画により、各公共施設の改廃、指定管理者の導入を行います。

なお、平成24年度の効果は、総合体育館の指定管理者導入によるものです。

#### 平成25年度以降の取組

##### 【施設の廃止】

ハイランドスポーツハウス(平成25年度)	勤労青少年ホーム(平成25年度)
----------------------	------------------

##### 【民間移譲】

市立保育園(一部)
-----------

##### 【指定管理者導入】

中央図書館	女性センター
リサイクルプラザ苫小牧	児童館・児童センター

○ 職員数の削減

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値	50	83	170	303
ローリング値	28	88	170	286

○ 給与の適正化

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値		10	10	20
ローリング値		8	14	22

通勤手当及び特殊勤務手当の一部について見直しを行いません。引続き、適正化に向けた取組を行いません。

(1)-2 予算編成における実施

○ 予算編成時の事業見直し(事務事業の早期見直し指摘)

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値		30	30	60
ローリング値		43	30	73

平成23年度予算編成では戦略型予算編成として経常変動費の枠配分方式を継続いたしました。恒常的に増加する経費や担当課の努力では節減できないものなどを1件査定扱いとし経常費の予算編成を実施いたしました。

○ 広告収入の確保

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値	1	1	1	3
ローリング値	1	1	1	3

財政課が主体となり先進事例の紹介を実施し拡大を図りましたが、経済情勢もあり平成22年度中に実施した庁舎動画広告のみとなりました。

(1)-3 各特別企業会計の繰出金

○ 自動車運送事業会計廃止に伴う繰出金の減

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値			577	577
ローリング値			577	577

平成24年4月全面民間移譲に伴う会計閉鎖により、一般会計からの繰出金は削減されます。移譲に伴う経費は経常費推計の中で別途支出することになります。

○ 市営住宅事業会計の会計方式変更による出資金の廃止

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値			111	111
ローリング値			111	111

会計方式の変更と長期借入金の解消により一般会計からの繰出金を削減することができます。

○ 市立病院事業会計の初期投資(機械器具)企業債償還終了に伴う繰出減

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値			300	300
ローリング値			300	300

国の基準により市立病院移転改築時の初期投資に対して繰出(補助)を行ってきましたが、医療機器の企業債償還が終了することに伴い繰出金が減少します。

○ 国民健康保険事業会計の長期債務解消による赤字補てん繰出の廃止 (単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
当初計画値		150	150	300
ローリング値	150	150	150	450

国民健康保険事業の単年度の収支の改善(単年度の赤字補てん)を図るため繰出(補助)を行ってきましたが、平成21年度決算で長期借入金の解消がなされたことから赤字補てんが不要となり繰出金を削減します。

(1)-4 基金・市債の活用

財源対策として市債、基金を活用する。 (単位:百万円)

当初計画値		平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計	備 考
	退職手当債		433	300	300	1,033
基金運用		△ 130	750	△ 150	470	
基金取崩		△ 300	300			財政調整基金(財源対策)
		170			170	財政調整基金 (公共投資臨時交付金)
基金繰替運用			450	△ 150	300	教育施設整備基金70、こども国際30、緑化推進30、福祉ふれあい120、霊園管理100、市民文化50、土地開発50
合 計		303	1,050	150	1,503	

ローリング値		平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計	備 考
	退職手当債		434		300	734
基金運用		△ 850	750		△ 100	
基金取崩		△ 1,020	750		△ 270	財政調整基金ほか(財源対策)
		170			170	財政調整基金 (公共投資臨時交付金)
基金繰替運用						平成23年度における基金繰替運用は回避
合 計		△ 416	750	300	634	

【基金繰替運用返済計画】 (単位:百万円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合 計
当初計画値	150	150	150	200	650
ローリング値				200	200

※平成27年度の2億円は先の健全化プランで運用した「福祉ふれあい基金」を返済するものです。

(1)-5 財源確保額一覧表

(単位：百万円)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	当初計画値	ローリング値	当初計画値	ローリング値	当初計画値	ローリング値
A 経常経費から生み出される臨時事業一般財源	2,949	3,547	1,888	2,305	1,968	2,132
B 財源対策合計 (1+2)	927	336	1,633	1,353	1,775	1,633
1 歳入の確保	877	158	1,353	1,052	403	256
(1) 広告料	1	1	1	1	1	1
(2) 使用料・手数料			2	1	2	5
(3) 遊休資産の売却	200	200	200	200	150	150
(4) 退職手当債の活用	433	434	300		300	
(5) 基金等の活用	△ 68	△ 788	750	750	△ 150	
基金取崩	△ 300	△ 1,020	300	750		
基金繰替運用	232	232				
(6) 前年度繰越金	311	311	100	100	100	100
2 歳出の抑制	50	178	280	301	1,372	1,377
(1) 職員数の削減	50	28	83	88	170	170
(2) 職員給与等の見直し			10	8	10	14
(3) 補助金・負担金			7	10	15	16
(4) 指定管理者・民間委託の推進					9	9
(5) 繰出金の見直し		150	150	150	1,138	1,138
(6) 予算編成での事務事業見直			30	45	30	30
臨時事業一般財源総合計 (A+B)	3,876	3,883	3,521	3,658	3,743	3,765

・ 臨時事業に充当できる一般財源の規模です。平成22年度決算見込の一般財源から、8億5千万円を基金に積立て(ほかに1億7千万円組戻し)、平成23年度財源対策としています。

・ 予算編成の基本は、確保できる歳入の範囲で歳出を賄うことにあります。上記の額は、本市の財政規模では決して多い額とはいえませんが、財政健全化へ日々取り組むことにより、この額を確保することが大切と考えます。また、今後も収支見直しについては、ローリングを通じて市民の皆様を示す必要があると考えています。

(平成24年度臨時事業一般財源合計には住宅会計の一般会計移行に伴う部分(2億6千万円)を加算しています。)

(2)「健全化の道筋」は財政指標により、目標達成の道筋は財政健全化計画により示す。  
(財政指標は位置的な把握を重点に市民に分かりやすく「ゾーン」管理とする。)

### (2)-1 経常収支比率

○ 予算編成の柔軟性を確保し事務事業の更なる縮減による行政コスト縮減のため、共通認識として目標指数を示します。

○ 市税収入は世界同時不況の影響を受け、平成21年度決算ベースまで回復をしていません。また、扶助費の増により経常収入が3.8%伸びましたが経常収支比率は計画値を下回る見込みとなりました。今後とも予算執行を含め、更なる改善が必要と考えています。

	22年度	23年度	24年度	29年度
計 画 値	89.2%	89.0%	88.5%	86.0%
ロ - リ ン ク ` 値	88.2%	89.4%		

### (2)-2 公債費比率

交付税代替財源としての臨時財政対策債を除いた普通債発行限度額を25億円程度(学校建設等は別枠)として償還元金>市債発行額のコントロールは継続し、また、公債費比率に基づいたコントロールを併用します。平成23年度は退職手当債の償還開始により公債費も微増しますが、計画値内を確保できるものと考えます。

	22年度	23年度	24年度	29年度
計 画 値	17.8%	17.5%	19.5%	17.0%
ロ - リ ン ク ` 値	16.5%	16.6%		

※平成24年度より住宅事業会計に係る市債償還を加算します。

### (2)-3 実質公債費比率

	22年度	23年度	24年度	29年度
計 画 値	11.7%	11.6%	11.5%	10.0%
ロ - リ ン ク ` 値	10.9%	10.7%		

### (2)-4 指標管理ゾーン

	経常収支比率	公債費比率	実質公債費比率
危険ゾーン	92.0%	20.0%	18.0%
警戒ゾーン (1/3)	90.0%	19.0%	16.5%
要注意ゾーン (2/3)	86.0%	17.5%	14.0%
安定ゾーン (1/2)	80.0%	15.0%	10.0%
安心ゾーン			

(3) 市民及び職員の財政状況に対する認識の共有化を図り、今後の苫小牧市の財政のあり方を示す。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い負の資産の積極的な解消に向けた手法を示します。

#### (3)-1 自動車運送事業会計の閉鎖

- 平成23年度末に廃止します。
- 苫小牧市営バスは、平成24年4月の全面民間移譲を前提とした新経営5ヵ年計画に基づき、移譲事業者を道南バス㈱と決定しました。これにより自動車運送事業会計を平成24年3月末に閉鎖いたします。

#### (3)-2 市営住宅事業会計の会計方式変更

- 会計方式変更は平成24年4月1日より一般会計とします。
- 独立採算の公営企業として事業を実施してきましたが、住宅使用料(家賃)が建設コストなどの設定から入居者の所得に応じた応能制に変更になり、また、長期借入金の解消も図られる見込であることから会計方式を変更します。この会計方式の変更により、入居者への直接的な影響はありません。
- 会計方式変更により事務の効率化を図ります。また、一般会計への影響は公債費の増(公債費比率は約2%増)がありますが出資金を廃止し繰出金の削減を図ります。

#### (3)-3 沼ノ端鉄北区画整理事業会計の閉鎖

- 平成24年度末に会計閉鎖します。
- 沼ノ端鉄北地区を区画整理により道路や宅地の整備を実施しましたが、土地売却が進まず、借入金の解消が進んでいないことから、累積資金不足の解消や圧縮方法など会計閉鎖について、第3セクター債の活用を含めて具体的な検討を進めます。

#### (3)-4 苫小牧土地開発公社の閉鎖

- 平成35年度末に閉鎖します。
- 公共用地先行取得を目的に設立された公社ですが、土地価格は下落傾向が続き、公共施設の用地取得も見込めないことから、土地取得に要した借入金の解消を図り、公社を閉鎖します。
- 第3セクター債の活用では、金利などの財政負担(10年償還、元利均等払い、年利2%では元金・利息利合計で5億7千万円)が大きいことから、平成25年度より一般会計が5億円規模の用地を計画的に購入し平成35年度末までに閉鎖します。
- 公売が可能な土地を土地造成会計などで買い取り販売する方法も具体的に検討します。
- 平成21年度末の長期借入金残高は51億4千万円

### (3)-5 退職手当基金会計の検討

- 退職手当基金は基金としての機能・役割を果たしていないため基金を廃止し、負担金管理会計として位置づけます。

### (3)-6 基金造成のルール化

- 緊急時(災害等)対応可能な柔軟性のある財政体質への転換のため「基金」造成のルール化を図ります。

「備荒資金」	緊急災害時の対応財源として雪氷対策予算の執行残を積立
「財政調整基金」	決算剰余金の10%程度を市債償還等の財源として基金積立
「減債基金」	

#### ※1 【臨時事業一般財源】

苫小牧市一般会計の支出予算は経常費と臨時費に区分されております。経常費は福祉関係の予算や市債(借入金)の返済費、職員の給与、施設の維持管理費などの日常的な予算です。臨時費はそれ以外ですので、学校の建設や大規模改修、道路・公園などの建設などの経費を指します。

一般財源は、国や道の補助金、市債(借入金)、特定の目的のための基金からの財源以外の市税や地方交付税などで使い道が特定されない財源(お金)です。

臨時事業一般財源とは、臨時の事業に使うことが出来る自由なお金ということになります。通常は経常費に充てて残額を臨時費に充当することになります。

臨時費も市民のニーズに沿った事業であることから、ある程度の一般財源規模を確保することも大切なことです。